

「歯・顎骨の標本作製受託再開のご案内」

お客様各位

先に、パラフィン包埋での歯・顎骨の受託を中止させていただきましたが、以下の条件での受託を再開申し上げます。新規受託内容と関連情報を以下に提案させていただきます。

＜歯・顎骨の受託条件＞

1. 樹脂包埋標本（当社の受託する方法に限定）
2. 対象：
(ア) 小動物（ラット・マウス）：樹脂包埋薄切標本
(イ) 中大動物（イヌ・ブタ・ヒト）：樹脂包埋研磨標本
3. 受託内容
(ア) 当社が提案する作製方法での受託（薄切の場合は亜連続切片あるいは連続切片）
(イ) CT または MRI 撮影をセットでの受託（以下参照）または依頼元から目的に沿った画像（DICOM 規格）が提供されること
<http://www.hslabo.co.jp/ct-mri/index.html>
<http://www.hslabo.co.jp/ct-mri/mri.html>
<http://www.hslabo.co.jp/ct-mri/ct.html>

＜樹脂標本作製の特徴と受託可能な条件と材料＞

- 1) 樹脂の特徴としては、パラフィンより硬度が高く、組織の欠損が無く再現性のある標本をご提供できます。
- 2) 目的箇所が限定されて小さい場合は受託不可させて頂く場合がございますので、事前にご依頼いただく全材料に対して、“大きさ情報と標本作製位置等を必ず「マーキング」と「図示」または「写真+ライン等での明示」” 情報を含めて問合せのほどお願い申し上げます。情報提供方法が不明な場合は事前に問い合わせください。
※中大動物の歯・顎骨を対象とした樹脂包埋研磨標本では、目的箇所が大きい場合、CT または MRI 撮影が不要となる場合があります。
- 3) 樹脂包埋薄切標本では脱灰操作を含みます。樹脂包埋研磨標本では樹脂非脱灰検体での標本作製が可能です。特にインプラント等の人工物が埋植された検体等に適した作製方法となります。
- 4) 切片厚は薄切で 4~5 μm 、研磨では 100 μm ~120 μm となります。
※樹脂包埋研磨標本は組織構造の観察は可能ですが、細胞単位での観察には不向きです。
- 5) 染色メニューは HP 情報を御覧ください。

詳しくは、以下のアドレスにアクセス頂くか、弊社 HP の問合せよりお問合せください。

<http://www.hslabo.co.jp/hard-tissue/jawb.html>

<http://www.hslabo.co.jp/inquiry/>

2018 年 8 月

株式会社新組織科学研究所